

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-1-1 県内企業の経営・技術革新の支援
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	しまねのものづくり高度化支援事業		
目的	(1) 対象	競争力強化を図ろうとする県内企業	
	(2) 意図	経営力や技術力等、企業の競争力が向上する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値向上を図るため、製造業に対して、技術力強化や生産管理、販路開拓等における専門家を派遣する財団の事業に対して補助する 技術力や付加価値の向上を図るため、製造業の技術者に対して、金型技術に係る最新技術動向の収集や技術セミナー等を行う 経営課題の改善や経営マネジメントの向上を図るため、製造業や企業連携に対して、経営診断、経営計画策定支援、フォローを実施する財団の事業に対して補助する 電気電子・機械金属関連分野での新たな技術開発による製品力強化を図るため、関連製造業に、技術力強化に関する講演会などを行う 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	当該事業に係る支援対象企業の付加価値額の増加額	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
式・定義	式：（付加価値増加企業の増加額）－（付加価値減少企業の減少額）、定義：平成23年度からの累計	目標値		40.00	58.00	75.00	92.00	億円
		実績値	22.00	33.00	33.00	38.00		
		達成率		82.50	56.90	50.70		
式・定義	式：（付加価値増加企業の増加額）－（付加価値減少企業の減少額）、定義：平成23年度からの累計	目標値		0.00	0.00			%
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	52,198	61,358
うち一般財源(千円)	52,198	61,358

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【平成26年度の状況】

- しまね産業振興財団への企業相談は企業数1,764社、相談件数7,679件に対応した（対前年度比 企業数23%増、件数20%増）
- ものづくりアドバイザー派遣事業により、49社・226回の専門家等を派遣した（対前年度比 企業数20%増、回数30%増）
- 当該事業に係る支援対象企業について、前年度に比して付加価値増加企業数は増加（H25：52社、H26：76社）、付加価値減少企業数は減少（H25：54社、H26：38社）したが、付加価値額の増加額は僅か

【H25工業統計調査】

- 製造品等出荷額：10,043億円（対前年比2.6%増）、付加価値額：3,371億円（対前年比1.2%増）→対前年比で製造品等出荷額、付加価値額ともに微増

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 財団への相談、個社への専門家等の派遣の回数とも前年度より大幅に増加し、現場改善や技術力高度化などの経営革新に取り組む県内企業への支援強化となった。
- 専門家の派遣等を通じて、経営革新計画の承認を受けた企業は目標の33社を大幅に上回る63社であった。
- 企業連携の計画承認を受けたグループが試作品を完成させた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

支援対象企業の付加価値額の伸びが低調

②困っている状況が発生している「原因」

国内市場の縮小や急激なグローバル化の進展等により、県内企業を取り巻く環境は厳しい

③原因を解消するための「課題」

- 付加価値額の増加を図るため、技術力や経営力の向上に向けた経営戦略の構築や経営計画の策定が必要
- グローバル化の影響に代表される一括生産受注等、発注者側ニーズの変化に対応するため、企業連携（グループ）の促進も必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 財団による企業相談や専門家等の派遣などにより、県内製造業の技術力や経営力の向上を支援
- 個社への支援に加え、企業連携（グループ）への支援も強化

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--